

平成 22 年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493600082	事業の開始年月日	平成19年8月1日	
		指定年月日	平成19年8月1日	
法人名	株式会社 エイジサービス			
事業所名	グループホーム いずみ別荘			
所在地	( 245-0017 ) 横浜市泉区下飯田町 8 1 1 - 4			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
定員等	認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成22年6月12日	評価結果 市町村受理日	平成22年9月22日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1493600082&amp;SCD=320">http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1493600082&amp;SCD=320</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>最寄駅から徒歩2,3分という立地条件ですが富士山も眺めることが出来、周囲にはまだまだ自然が残っています。家庭的な雰囲気や大切に個々のレベルや希望に添えるように心がけております。</p>
---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ヌグ双ファースト 3階		
訪問調査日	平成22年7月30日	評価機関 評価決定日	平成22年8月26日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>横浜市営地下鉄「下飯田駅」から徒歩2分、周囲に高い建物がなく晴れた日には富士山や遠くの山々を望むことができる環境の中にあります。ホームには、芝生の敷き詰められた庭に続くウッドデッキや家庭菜園の畑があり、日当たりも良く、敷地も建物内もゆったりとした造りとなっています。</p> <p>医療法人栄慈会グループに属し、グループ内には訪問診療、訪問看護のクリニック、介護療養型の病院もあり、医療面での安心感を得ることもできます。</p> <p>優れている点 入居者は、体操やレクリエーション、散歩、買い物、畑の作物への水やりや収穫、食事の支度や後片づけ、洗濯物を干してたたむなど、個々の得意なことや力量に応じて出来ることを職員と共にしながら、毎日の生活を送っています。誕生会、季節毎の行事やドライブ、外食の機会なども多く設けています。</p> <p>食事は楽しみの1つであり、お花見に出かけた際に外食をしたり、フラワーセンターへ出かけながらお弁当を食べたり、目の前で板前さんにお寿司を握ってもらうなど、趣向を凝らして楽しんでもらっています。運営本部からは、「全国うまいもの巡り」として、毎月、名産品や旬の食べ物が届きます。</p> <p>職員は、会議や勉強会で意見を出し合いながら、入居者が楽しく安心して過ごせる支援が出来るように努めています。</p>
---

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム いずみ別荘
ユニット名	1F つる

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	知り得た入居者の情報や気持ちは職員で共有し、ケアに反映できるように取り組んでいます。	理念は玄関ホールやフロア入口の目に付くところに掲示すると共に、内部研修や朝礼時に確認し合って共有し、日々の支援の拠り所としています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の散歩に出かけるときには道行く人々と挨拶や会話を楽しんでいます。今年のご近所から筍のおすそ分けも頂きましたが、今後さらに必要と思っています。	自治会に加入していますが、地域との交流はあまり行われていないのが現状です。交流の一環として、今年のホームの納涼祭には自治会関係者や近隣の方々に参加してもらう予定です。	自治会と積極的な交流を持ち、自治会活動への参加などを通じて地域との交流を徐々に深めていくことが期待されます。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会に加入していますが、地域の方々に向けての発信は出来ていません。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	1回/3ヶ月 地域の方々を交えて報告を行い意見・要望を頂いています。	年4回開催し、入居者の状況やホームの活動状況、行事予定などを報告し、意見交換も行っています。6月の会議では、スプリングラーを設置したことや、外部評価・情報公表制度調査の実施などについて報告をしています。	運営推進会議は年4回の開催となっていますが、年6回の開催を目指す事が期待されます。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の出席のみで連携はとれていません。	運営推進会議や認定更新時には区担当窓口と接触していますが、その他の面においては連携が取れている状況にはありません。	今後、ホームの実情や入居者の状況、ケアサービスへの取組みなどを伝え、行政と連携して行く事が期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ホームの前に大きな道路があることから、ご家族に了解を得た上で玄関・勝手口には施錠をしています。	身体拘束排除宣言を玄関ホールに掲示し、身体拘束排除マニュアルを整備しています。研修も実施し、職員は身体拘束をしないケアに努めています。日々の支援の中で職員間で注意し合っています。	
7		<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されないよう注意を払い、防止に努めている	入浴時のボディチェック等・言動にも注意を払っています。		
8		<b>権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要時には代表・ケアマネジャー・職員で話合う機会を作っています。		
9		<b>契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学していただいた上で、疑問点には誠意を持ってお答えしています。契約は代表が行っています。		
10	6	<b>運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置し、いつでも気軽に意見を書いて頂けるようにしました。管理者・ケアマネにはいつでも要望を言って頂ける様にお伝えしています。	玄関ホールに意見箱を設置しています。ホーム長やユニットリーダー、ケアマネジャーがいつでも対応する事を折に触れ伝えていきます。入居者からの「誕生日は特別に外食したい」という要望にも対応し実施しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のユニット会議で拾いきれない意見は、個別に対応をしています。	毎月実施のユニット会議では、各職員から会議の半月位前に、職員が議題にしたいこと、提案したいことなどを出してもらい話し合っています。また、職員専用のご意見箱を設置し、職員からの意見・要望を聞くようにしています。	
12		<b>就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	昇給や有休の奨励など勤め労働環境や条件の整備を行っています。		
13		<b>職員を育てる取組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修案内等を職員に回覧し参加を促しています。		
14		<b>同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他のグループホーム管理者と情報交換をしたり、交換研修に参加したりしています。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>初期に築く本人との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	まずは職員との関係を築き、他入居者との関係が築けるように橋渡しをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の気持ちにも寄り添えるようお話を伺う時間を作るようにしています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	日常生活の中でご本人の希望をお聞きし、職員間で都度検討・対応をしています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事などに参加して頂き、共に作業を行っています。今後、更に自発的に家事を行えるような環境作りをしていく努力をしたいと思います。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホームとご家族とで本人を支えていけるように、必要時には密に連絡を取り合っています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご希望があれば、ご友人の面会・電話・手紙等の継続を援助しています。	入居者の希望に応じて電話や手紙の取次ぎをしたり、友だちが訪れるのを迎えています。誕生日などは個別対応をして、本人の意向に沿った支援方法が実施できないかと考察中です。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者間の関係に配慮しながら、職員が仲介に入ったりもしています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	面会や季節の挨拶状など関係が途切れないようにしています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	情報の共有を行い本人の希望に添えるような対応を検討しています。又、意思確認が難しい場合はご本人の立場にたって考えるようにしています。	日常の何気ない会話から思いや意向を把握したり、居室担当者を決めて個別対応をし、密に関わりを持って利用者の意向をきめ細かく把握出来るように努めています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人ファイルからの情報やその後知り得た情報の共有を職員間で行っています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝・夕の申し送りでご入居者の身体・精神状態の情報を共有しています。 (2ユニット合同)		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>3ヶ月毎のモニタリングや状況変化時の介護計画変更ではサービス担当者会議を開き現状に即した計画を立てるようになっています。</p>	<p>ユニット会議時のモニタリングやサービス担当者会議などを通じて情報共有を行い、介護計画を作成しています。退院時はミーティングを開き病院からのサマリー（概要）を取り入れて支援の検討をしています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護計画に沿った個人記録を記入し、気付きは朝・夕の申し送りで情報の共有をしています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>出来ていません。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>なかなか地域資源を活用できていませんが、毎週近隣のスーパーへ買い物に出掛けています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>1回/2週間の訪問診療でかかりつけ医の診察・処方・指導を受けています。又、必要時には専門医への紹介も行っています。</p>	<p>利用者や家族の了解のもと、ホームの往診医がかかりつけ医となっています。必要に応じて専門医を紹介し、家族へ連絡しています。また、通院の支援をしています。受診結果は診療情報提供書やノートを回覧して職員間で情報共有しています。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	1回/1週間の訪問看護では、入居者の気付きを相談し助言や処置を指導していただいています。又、その他の時間においても電話で相談し指示を仰いでいます。		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関・家族・ホームとで情報の共有が出来る様に医療機関に出向き関係作りに努めています。		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ホームと家族との間で出来る事と出来ないことを伝えた上で話し合い、次の段階への援助ができるように努めています。	入居時に本人および家族へ説明し、看取りに関する同意書を交わしています。本人の状況に応じて必要性を考慮し、家族と医師に相談しながら支援していく意向です。職員間で勉強を始めています。	
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	外部研修を受講予定です。今後も定期的に研修へ参加し、職員の実践力が身についていくようにホーム内での研修に繋げていきたいと考えています。		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域との協力体制は今後の課題ですが、消防訓練等で職員は避難誘導を訓練しています。今後は夜間時の避難誘導訓練を検討しています。	消防署立会いのもとに、消火訓練や入居者を交えての避難誘導、搬送などの避難訓練を行っています。6月にはスプリンクラーを設置しました。救急救命法の研修に参加した職員の報告書および資料を回覧し、情報の共有を図っています。	飲料水などの非常用備蓄品の必要量確保や、家具や物品の転倒防止策などを再点検することが期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の特徴を把握し、誇りやプライバシーへの配慮をしています。	研修で伝えています。また、職員が気になる対応をした時は、その都度、管理者やリーダーが注意をし、職員の自覚を促しています。トイレ誘導も、入居者が席を立った時などのタイミングを見計らったり、声掛けを工夫するなどしています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個別対応で本人の希望を聞きだすなど自己決定を支援しています。意思決定の困難な方には本人主体で考えるようにしています。	/	/
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の都合が優先されがちで、なかなかお一人ずつのペースで生活をするまでには至っていません。	/	/
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	1回/2ヶ月 訪問理・美容をお願いしカットやパーマ・毛染めなど対応してもらっています。	/	/
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付け・配膳・下膳と職員と共に行っています。又、個々にあわせた形態で提供したり禁食のある方には代替を提供しています。先日はお寿司のバイキングを楽しみました。	得意なことや力量によって、食事の準備や後片づけを入居者と職員が一緒にしています。ホームの畑で収穫した野菜を食べたり、外食、好きなお弁当をとる、目の前でお寿司を握ってもらうなど、バラエティー豊かな食事の機会を設けています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分摂取量を記録し、補水が必要な方には好みのものを提供できるようにしています。</p>			
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>歯科医からの指導・助言をもらい自身での口腔ケア後に介助を行っています。朝・夕の2回になってしまう方もいらっしゃいます。</p>			
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>筋力低下や本人の自信につなげる為にも、無理のない程度で日中のトイレ誘導を実施しています。</p>	<p>排泄チェック表により個々のパターンを把握し、タイミングや様子を見計らってトイレ誘導をしています。食事の際は車イスからイスへ座ってもらったり便座に座ってもらったりして筋力が低下しないようにするなど、自立に向けて支援しています。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>医師の処方薬による排便コントロールや乳製品の摂取を行い予防や対応をしています。</p>			
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>個々の都合を伺いながら希望に添えるように努力していますが、時間帯に関しては難しさを感じています。又、季節を感じる為の菫蒲湯やゆず湯も行い楽しんで頂いています。</p>	<p>職員の配置状況により、基本的には1日おきに午後からの入浴ですが、入居者の個々の状況によって対応しています。入浴を嫌がる方へは、無理強いせず職員や声掛けを変えて工夫しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p><b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>自身のペースで居室内で休んでいただいています。安心して安眠できるように入床前に足浴を行うこともあります。又、居室内の室温・湿度管理も行っています。</p>		
47		<p><b>服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>職員全てが処方薬の説明書を確認できるように手じかにファイルを置いてあります。又、服薬マニュアルの周知も職員へ行っています。</p>		
48		<p><b>役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個別で対応が出来る様に心がけていますが、まだ充分ではありません。</p>		
49	18	<p><b>日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>家族の協力で個別に外出・外食を行っています。地域の協力を得るような外出はまだ出来ていません。</p>	<p>毎日の散歩、買い物、ホーム内の畑の作物への水やりや収穫、ベランダやウッドデッキで過ごすなど、日常的に戸外の空気に触れています。また、お花見やドライブ、外食の機会などを多く設けて楽しく過ごせるように支援しています。</p>	
50		<p><b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ホームでは基本的にお金の管理はしていません。お金を持っていることで安心が得られる入居者に関しては、ご家族との話し合いで持っていることを職員は把握しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	キーパーソン了解の下、希望に沿うように対応しています。			
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を共に買いに行き飾ったり、外出の際に取った写真を掲示して季節感に気を配っています。	共用空間は明るく、清潔で整頓されています。季節に沿った作品を皆で作って飾ったり、写真を掲示しています。台所からは食事の用意の匂いが漂い生活感があります。訪問日には夏の風物詩、ほおづきの鉢植えが玄関に飾ってありました。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	1Fウッドデッキでティータイムを楽しんでいます。又、現在は和室の活用をしていただける様に思考錯誤をしています。			
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを持参していただいておりますが、今年度は消防からの指導もあり居室使用のカーペットを防災加工品への変更をして頂きました。	テレビ、仏壇、家具をはじめ、季節の草花を飾ったり、自分の作品や好みの画集などを居室に持ち込み、個々の好みに沿った品々に囲まれて暮らしています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	汚染肌着を自らで洗濯するなど、出来ることは行っていただけるように配慮しています。又、ご自身で布団干しをされる方もいらっしゃる為、さりげなく見守っています。			

事業所名	グループホーム いずみ別荘
ユニット名	2F かめ

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>知り得た入居者の情報や気持ちは職員で共有し、ケアに反映できるように取り組んでいます。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>近隣の散歩に出かけるときには道行く人々と挨拶や会話を楽しんでいます。今年のご近所から筍のおすそ分けも頂きましたが、今後さらに必要と思っています。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>自治会に加入していますが、地域の方々に向けての発信は出来ていません。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>1回/3ヶ月 地域の方々と交えて報告を行い意見・要望を頂いています。ご家族の要望には可能な限り対応しています。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議の出席のみで連携はとれていません。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ホームの前に大きな道路があることから、ご家族に了解を得た上で玄関・勝手口には施錠をしています。身体拘束には職員にも日頃から研修を行っています。		
7		<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されることがないように注意を払い、防止に努めている	入浴時のボディチェック等、職員間で確認し注意を払っています。又、身体への虐待のみならず、日常の言動からの虐待へも配慮しています。		
8		<b>権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要時には代表・ケアマネジャー・職員で話合う機会を作っています。		
9		<b>契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学していただいた上で、疑問点には誠意を持ってお答えしています。契約は代表が行っています。		
10	6	<b>運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置し、いつでも気軽に意見を書いて頂けるようにしました。管理者・ケアマネにはいつでも要望を言って頂ける様にお伝えしています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のユニット会議で拾いきれない意見は、個別に対応をしています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	昇給や有休の奨励など勤め労働環境や条件の整備を行っています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修案内等を職員に回覧し参加を促しています。又、毎日の15分ミーティング等で職員へのトレーニングを実施しています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他のグループホーム管理者と情報交換をしたり、交換研修に参加したりしています。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	まずは職員との関係を築き、他入居者との関係が築けるように橋渡しをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の気持ちにも寄り添えるようお話を伺う時間を作るようにしています。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>日常生活の中でご本人の希望をお聞きし、職員間で都度検討・対応をしています。又、必要時にはカンファレンスを開いています。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>家事などに参加して頂き、共に作業を行っています。今後、更に自発的に家事を行えるような環境作りをしていく努力をしたいと思えます。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ホームとご家族とで本人を支えていけるように、必要時には密に連絡を取り合っています。ご家族来荘時には必要以上の気遣いをせず、我が家のように来荘いただけるようにしています。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご希望があれば、ご友人の面会・電話・手紙等の継続を援助しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者間の関係に配慮しながら、職員が仲介に入ったりもしています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	面会や季節の挨拶状など関係が途切れないようにしています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	情報の共有を行い本人の希望に添えるような対応を検討しています。又、意思確認が難しい場合はご本人の立場にたって考えるようにしています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人ファイルからの情報やその後知り得た情報の共有を職員間で行っています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝・夕の申し送りでご入居者の身体・精神状態の情報を共有しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>3ヶ月毎のモニタリングや状況変化時の介護計画変更ではサービス担当者会議を開き現状に即した計画を立てるようになっています。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護計画に沿った個人記録を記入し、気付きは朝・夕の申し送りで情報の共有をしています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>出来ていません。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>なかなか地域資源を活用できていませんが、毎週近隣のスーパーへ買い物に出掛けています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>1回/2週間の訪問診療でかかりつけ医の診察・処方・指導を受けています。又、必要時には専門医への紹介も行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	1回/1週間の訪問看護では、入居者の気付きを相談し助言や処置を指導していただいています。又、その他の時間においても電話で相談し指示を仰いでいます。		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関・家族・ホームとで情報の共有が出来る様に医療機関に出向き関係作りに努めています。		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ホームと家族との間で出来る事と出来ないことを伝えた上で話し合い、次の段階への援助ができるように努めています。		
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	外部研修を受講予定です。今後も定期的に研修へ参加し、職員の実践力が身についていくようにホーム内での研修に繋げていきたいと考えています。		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域との協力体制は今後の課題ですが、消防訓練等で職員は避難誘導を訓練しています。今後は夜間時の避難誘導訓練を検討しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の特徴を把握し、誇りやプライバシーへの配慮をしています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個別対応で本人の希望を聞きだすなど自己決定を支援しています。意思決定の困難な方には本人主体で考えるようにしています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の都合が優先されがちで、なかなか一人ずつのペースで生活をするまでには至っていませんが職員一同できる限り努力をしています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	1回/2ヶ月 訪問理・美容をお願いしカットやパーマ・毛染めなど対応してもらっています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付け・配膳・下膳と職員と共に行っています。又、個々にあわせた形態で提供したり禁食のある方には代替を提供しています。先日はお寿司のバイキングを楽しみました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分摂取量を記録し、補水が必要な方には好みのものを提供できるようにしています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>歯科医からの指導・助言をもらい自身での口腔ケア後に介助を行っています。朝・夕の2回になってしまう方もいらっしゃいます。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>筋力低下や本人の自信につなげる為にも、日中のトイレ誘導を実施しています。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>医師の処方薬による排便コントロールや乳製品の摂取を行い予防や対応をしています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>個々の都合を伺いながら希望に添えるように努力していますが、時間帯に関しては難しさを感じています。又、季節を感じる為の菖蒲湯やゆず湯も行い楽しんで頂いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>自身のペースで居室内で休んでいただいています。又、居室内の室温・湿度管理も行っています。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>職員全てが処方薬の説明書を確認できるように手じかにファイルを置いてあります。又、服薬マニュアルの周知も職員へ行っています。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個別で対応が出来る様に心がけていますが、まだ充分ではありません。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>家族の協力で個別に外出・外食を行っています。地域の協力を得るような外出はまだ出来ていません。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ホームでは基本的にお金の管理はしていません。お金を持っていることで安心が得られる入居者に関しては、ご家族との話し合いで持っていることを職員は把握しています。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	キーパーソン了解の下、希望に沿うように対応しています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を共に買いに行き飾ったり、外出の際に取った写真を掲示して季節感に気を配っています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	1Fウッドデッキでティータイムを楽しんでいます。又、現在は和室の活用をしていただける様に思考錯誤をしています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを持参いただいておりますが、今年度は消防からの指導もあり居室使用のカーペットを防災加工品への変更をして頂きました。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の持っている力に合わせて、安全に生活出来る様に工夫をしています。		

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	昨年よりご指摘のあった災害時の備蓄品が、スペースの問題もあり未だに準備できていません。まずは、水だけでも非常用に準備をして行きたいと思えます。	備蓄品を保管するスペースを確保し水から準備していきたいです。	ホーム敷地内の倉庫にとりあえず飲料水	1ヶ月
2	19	利用者の健康状態・生活状況等について変化があったときの連絡は行ってきたが定期では行っていなかった。	居室担当の紹介を兼ねて、毎月定期的に健康状態・生活状況等について連絡を行っていく。	会議において職員の意見を聞きながら、今後定期で書面を送付できるようにする。	1ヶ月
3	2	残念なことにあまり地域との交流がなされていません。	地域との交流を目標とするが、まずは当ホームを知ってもらうことを始めの取り組みとしたい。	運営推進会議を利用し、認知症の入居者が生活する場であることを地域に知ってもらうにはどうしたらいいのか？相談をすることから始める。	6ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。